

## 犯罪・事件について

名古屋市長大井中学校

3年

かわむら  
川村 美結  
みゆう

皆さんはニュースは好きですか。私は大好きです。理由は単純で、おもしろいからです。さて、そんなニュースですが、残念な事に毎日、殺人事件や窃盗事件などの事が報道されます。みなさんはそんなひどい事件を聞いてどう思いますか。きっといろいろな思いがあるでしょう。

しかし、一度立ち止まって考えてみてください。どうしてそんな事件ばかり起きるのでしょうか。また起きてしまうのでしょうか。もちろん一概にこれだ、とは言えませんが、私は環境的要因がどんな事件にでも関わっていると感じます。しかしこれも様々な意見があることでしょう。私の考えに納得する方もいれば、反論をする人ももちろんいらっしゃるでしょう。あくまでも私の考察なので、考えの一つとして捉えていただければと思います。

私が考える環境的要因としての一点目は、大人になってから生まれる新たな環境です。大人というのは、義務教育を終わらせ、人によっては勉強、または就職、とどんどん成長していき自分の力で生きようになります。そこまではよいのです。しかし、就職した時の環境や人間関係、そういった自分と関わるすべてのものに問題があると考えます。結論から言うと、もっと寛容になりましょう。お互いを大切にしましょう。事件、犯罪だけではありません。日常も関わっています。ニュースを見ていつも思います。いったい何がそうさせてしまったんだ、と。私は三年前、ある事がきっかけとなり、カウ

ンセリングをするために、心療内科へ通うことになりました。今も通っています。薬も飲んでます。そこでいつも実感します。話を聞いてもらうってこんなにも気持ち良くなり、嬉しいことだと実感します。

小さな悩みでさえも親に話してみると、解決策を提案してくれます。きっと人というのは同じなのではないでしょうか。誰かに話を聞いてほしい、受けとめてほしい、そう思っている人がたくさんいるのではないのでしょうか。誰しも悩みはあります。それを話し、相談する事は決して悪い事でもなく、弱い訳でもありません。相談するのは、よい事で、打ちあける事ができたのはとても強いことです。そして何より成長できるはずです。話を聞いてあげる、話をしてみる。そう単純な事でも変わる人はいるはずです。それを聞いた人も、無理に解決策を出すのではなく、受けとめてあげてください。本人の意志を聞いてあげてください。

もし辛くて、どうしようもないという状況だったら、たださひたすらに受け止めて、支えてあげてください。それをする事によって大きく変わるはずです。溜める事は己の自滅を意味します。一人一人が寄り添い、支えあっているけば、この不寛容な社会が明るく居心地のよい社会へとつながると信じています。人の悪い所ばかり伝えるのではなく、よい所を見つけてあげましょう。みんな支えあって生きましょう。中学生の甘い戯言に聞こえる人もいると思います。しかし、みんなが幸せに過ごせる、事件、

犯罪を無くす、というのはみんなが支えあってこそ作ることができるのではないのでしょうか。

また、ニュースで犯罪が起こると顔や名前など個人情報が開かれます。果たして、必要でしょうか。あれは、はっきり言って必要ないと思います。日本の憲法で三つあります。その中の一つ、基本的人権の尊重があります。公開するという行為は守られていないと思います。公開して社会に居づらくするのが目的なのでしょう。それは人権の尊重に反していると思います。犯罪をおこそうが正直、関与していない人達にとっては関係ないこと。被害者のご家族の方も思いはあるでしょう。憎しみ、復讐心、負の感情をたくさん抱くでしょう。だからと言って公開して、名前、年齢をも公にするのは間違っています。今はインターネットという武器にもなれば凶器にもなるものが存在します。場合によってはいろいろな特定されて、最悪のケースは自殺にまで及ぶ可能性があります。公開するという行為は一種の殺人方法です。追いつめているとは思えません。

私の好きなアニメに次のようなセリフがあります。「人には誰だって言いたくない事は一つや二つあるわ」というセリフです。このぐらい寛容になっても良いのではないのでしょうか。これも正解とはいえません。

皆さんも色々思う事があるでしょう。いつか皆が幸せになれる社会を作るには、支え合い、もっと寛容になるべきだと私は考えます。